

# ごあいさつ



鹿児島県高等学校文化連盟  
会長 東郷 孝仁

“文化、どっかへん！”

2018年12月に開催された第2回全九州高等学校総合文化祭鹿児島大会のテーマです。素晴らしい大会でした。そのスピリッツが、来たる2023年(令和5年)の第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会に続いて行うとしています。

“細く、キバる、輝く”

2023年鹿児島大会の基本方針です。鹿児島の高校生の素晴らしい可能性を感じさせる、未来への言葉です。考えてくれた高校生の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

「ありがとうございました。」

振り返ってみますと、令和元年度は、鹿児島県高等学校文化連盟30周年という節目の年でした。7月の記念式典や10月の県高校総合文化祭交流フェスタ(第10回曾於・肝属地区総合文化祭)など、各種の大会で多くの関係各位の皆様や高校生の活躍の場面に出会うことができました。これも先生方の日頃の指導と生徒たちの研鑽の賜であると考えています。

さて、本県の高等学校文化連盟は、平成2年2月に設立総会、設立式典、記念演奏会を県文化センター(現在の宝山ホール)で開催してスタートしました。爾来、鹿児島県内高校生の芸術文化活動の振興とその教育効果の拡大を企図して活動しています。豊かな可能性を持つ高校生に芸術・文化活動の総合的な発表の場を提供することによって、芸術・文化活動への参加意欲を喚起し、創造力豊かな人間形成に寄与したい、そのような先生方の「思い」を感じています。令和2年度の県高校総合文化祭交流フェスタは奄美地区での開催を予定しています。関係する先生方や指導者の方々には、大変なご尽力をいただきますが、どうぞよろしくお願いいたします。多くの高校生たちの夢や希望が集い、響き合う、素晴らしい大会になって欲しいと願っています。

最後に、令和元年度における県高等学校文化連盟の活動等をまとめた『文華』第31号が上梓されましたので、お届けします。本誌を貴重な活動の記録として、また今後の新たな活動への糧として活用していただければ幸いです。また、校務の傍ら熱心に編集作業等に当たられました関係者の皆様方に深甚なる感謝の意を表します。

今後とも鹿児島県高等学校文化連盟に対する御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。ごあいさつといたします。